

# 佛心

二〇一七年三月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

していた際にふと幼少期の記憶を思い出しました。

それは実家のお寺

した。それを聞いて少しイラっとしてしまった私は「いやいや、ちやんと保育園から鬼の格好をして出てきたわ。」と言いました。



節分の鬼は

我がこころ

三月は別名で「弥生」と言います。

「弥」には、いよいよという意味があり、「生」には生い茂るといいう意味があります。つまりは、草木がいよいよ生い茂る月という意味で三月を「弥生」という言葉で表しているようです。

ただここトロントでは日本の三月と異なり、まだまだ寒い日が続いており、草木もまだまだ新芽をつけそうにありません。それはまるで年明けの寒波が3月に入ってもなお押し寄せて来るような気配さえ感じさせてきます。

さて、そんな寒い中でも先月（二月）は、トロントで日本の行事を友人のお子さんと一緒に楽しませていただきました。その行事とは、「福は内、鬼は外」と豆まきをする節分です。その豆まきを

が保育園を営んでいたため、私も幼いときには鬼の格好をしてくれた思い出坊さんに豆を投げつけていた思い出でした。ただ高校生ぐらいになりますと住職である父親から鬼の格好をさせられて豆を投げるのではなく、保育園児から豆を投げつけられる側になってしまいました。

あれって相手が園児であつたとしても豆をぶつけられるとかなり痛いです。しかも中には豆を投げずにグーパンチで殴ってくる子どももいる。当時の私にとつては少し憂鬱な気持ちにもなるお寺のお手伝いでした…。

豆まきの手伝いから疲れ果てて（なんでこんな手伝いをしないといけないのか）と思いつつ家に戻りますと、住職である父親が私のそんな顔を見て一言、「鬼は外に出ていかんかったようやな」と笑っていました。

するとその言葉を聞いた父は、「人間、誰もが誰にでも簡単に腹を立ててしまう。たとえその相手が幼き保育園児であつたとしても、人間、ちよつとしたことで腹を立ててしまう。たとえその相手が愛しい家族であつたとしても、人間、簡単に腹を立ててしまう。もし、それが永遠の愛を誓い合つた恋人同士であつたとしても…、やはり人間、少しのことで腹を立ててしまう。」

ここまで言われるときさすがに頭の悪い私でも父親が何を言いたかつたのか少し分かるような気がしました。つまり「福は内、鬼は外」という「鬼」とは、角の生えた赤鬼や青鬼のことではなく、この私自身の心の鬼のことを言っていたのです。

我が息子の中に鬼がいるという考  
え方は、一人の父親というよりも、  
いかにも仏教の住職らしい考え方だ  
なつと今になって思い返します。

そして、その私の中にいる鬼とは  
仏教でいう「三毒」です。

「三毒」とは、様々なものに執着し  
貪り欲する心（貪欲）。すぐに怒っ  
てしまう心（嗔恚）。そして、正し  
い判断ができない愚かな心（愚痴）  
のことです。

その三つを持ち合わせた私たち人  
間を浄土真宗の開祖である親鸞聖人  
は「煩惱具足の凡夫」と表されまし  
た。その煩惱具足の凡夫の私たち人  
間は、心に余裕をなくしてしまうと  
自分勝手に行動し、周りのことも考  
えずに、時には他人をも簡単に傷つ  
けてしまう鬼のような存在です。

節分の豆まき行事「福は内、鬼は  
外」その一つをとっても、その言葉  
の捉え方を変えれば「私にとって都  
合の良いものは内にこい！私にとつ

て都合の悪いものは外に出て行け！」  
と自分の都合のことしか考えていな  
い、人間の自己中心的な三毒を持ち合  
わせた本性を表しているかのようにも  
見えてきます。

ただ、その醜い私の姿を決して逃す  
ことなく目の前に突きつけてくるのが  
仏教であるといつても過言ではござい  
ません。「仏教」つまり「仏の教え」  
とは、一切の嘘ごまかしを排除した真  
の目で正しく物事を見させようと導い  
て下さる教えです。己の内面を真の目  
で見つめ、正直に自分自身の三毒を捉  
えていく。厳しい教えやなあ、と思わ  
れる方もいらつしやるかもしれません  
ん。しかし、生半可な優しさではな  
く、厳しくとも本当に私のことを思っ  
て教えてくれているのが、慈悲と智慧  
の備わった仏様の教えです。

そして、その三毒を取り払えない私  
の醜い情けない姿が見えたとき、それ  
でもなお呼びかけはたつき続けてくれ  
ているのが阿弥陀如来のお慈悲です。  
その阿弥陀如来とは、外の福も内の鬼  
も気に咎めることなく西方極楽浄土へ

呼んで下さる唯一の仏さまです。

イベントとしての豆まきは楽しく  
ていいものです。しかし、その口  
から出てくる「福」と「鬼」とは  
一体何なのかを考えたとき私の自  
己中心的な姿がそこに見え隠れし  
ています。それは豆まきイベント  
だけに限ったものではありません。  
普段の生活でも私のこころに  
住みつく三毒はなかなか離れてく  
れません。

しかし、その「福」も「鬼」も  
どちらも障りとせずにおはらきに  
なる阿弥陀如来に手を合わせると  
き「南無阿弥陀仏」が口からこぼ  
れてきます。

合掌

トロント仏教会

大内祐真

# NEW Kids Sangha

毎月第1第3日曜日のキッズサンガ（子ども会）では、今までのスタイルを一変して椅子席ではなく、スポンジマットの上でみんなと正座をすることにしました。なかには生まれて初めて正座をする子も...

最初に「It is so easy for me（めっちゃ簡単やん）」と胸を張っていた女の子が、途中から足の痛さを我慢して一生懸命に正座していた姿は、面白可笑しくも、とても頼もしくも思える姿勢でした。先月はオンタリオ州のFamily Dayということもあり、仏教用語の“Sanghaサンガ”と交えてお話しをしました。

今月（3月）のキッズサンガでは、子ども達を対象にお焼香の作法をレクチャーと花祭りを行います。なぜお香を焚くのか？なぜ手を合わせるのか？なぜ作法が大事になってくるのかのお話と、花祭りではキッズサンガの子ども達にも法要を手伝っていただきます。ご興味がありましたら、どなたもご参拝下さい。



## 春季彼岸会

3月18日（日）

午前11時より

我々の世界を川のこちら側の岸（此岸）  
仏の世界を向こう岸（彼岸）に譬え、  
西方極楽浄土に生まれる事を願い  
春と秋の二度、真西に沈みゆく太陽に手  
を合わせ礼拝したのが、お彼岸の  
起源といわれ  
ています。



お彼岸のご縁にぜひお参り下さい

## 敬老会

3月18日（日）

午後12時半より

喜寿、米寿、白寿を迎えられる方々に  
長年にわたりお寺に貢献していただいた

感謝の気持ちを込めて

表彰状を送らせていただきます。

舞踊、カラオケ、ダンス、南京玉すだれ  
など楽しいプログラムが盛りだくさん！！

77歳以上の方はフリーお弁当

それ以外の方は10ドルです。



会員登録  
新規／更新

オンライン登録  
新規／更新

## 会員登録のお願い

2016年が過ぎ、また2017年度会員登録のお願いの季節になりました。昨年も会員登録数が増え、300名を超えました。この順調な増加傾向はトロント仏教会の将来に向けた心強い流れになっています。しかしながら、いまだに会員登録をされていない方がおられます。

言うまでもなく、トロント仏教会の将来は会員の皆様に依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免

**一般会員**とは各年1月1日から12月31日まで有効で、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（2017年の会費は最低\$100から\$125に上がりました）の受理後（あるいは5月31日までに支払うとの確約後）、会員カードを送付します。

**名誉会員**とは77歳以上の方で、2017年度会員登録をされた方、あるいはすでに名誉会員であり毎年名誉会員の継続を表明された方、に会員カードを送付します。名誉会員は年会費が免除されますが、ご志納はありがたく拝受させていただきます。